

2024年日本平和大会実行委員会ニュースno.3



発行:2024年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2024/7/22
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

大会めざす取り組みは 総選挙で審判下す力

第4回実行
委員会開催

2024年日本平和大会実行委員会は5日、第4回実行委員会をオンラインで開催。五十嵐全労連常任幹事の司会のもと、東森安保破棄中央実行委事務局長が開会あいさつを行い、千坂日本平和委事務局長が、報告と提案を行いました。

今回の実行委員会は、自民党総裁選後に解散・総選挙が行われる可能性が高まるもと、大会をめざす学習と運動を総選挙の力にもしようと、新しい「成功のよびかけ・第2次」(別添)を確認し発信しました。



平和大会パンフなどを活用した学習と国民的な宣伝の取り組みを強めましょう

東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ

お忙しい中、実行委員会にご参加いただき、ありがとうございます。

大会本番まで2か月余りとなりましたが、政治の大きな動きの中にあります。

その1つは自民党総裁選挙です。裏金問題の真相解明や企業団体献金禁止には背を向けたまま、改憲・軍拡、戦争国家づくりの契機にしようとしています。

私たちは、自民党総裁選の後、時間をおかずに行なわれるといわれる総選挙で、自民党政治をリセットさせないために、いまたたかいを強めなければなりません。

私見ですが、今度の総選挙は自民党にとってもきわどいたたかいだと思います。それは裏金問題など基本姿勢が問われており、裏金議員をはじめ、厳しい選挙と自覚しているがゆえに、総裁選を意図的に演出しているのだと思います。他方で、野党が、特に対米関係で「現実的政策」に傾斜していく流れがあります。

この中で、野党共闘のたたかいの中に「軍拡反対」、「戦争につながる軍事同盟強化反対」の旗を立てていくのが私たちの重要な仕事だと思います。

そのために、改めて改憲と軍拡の自民党政治が戦争への道であること、それは金権腐敗、暮らしの破壊と一体であることを、具体的な問題を通じて明らかにすることが必要です。

平和大会パンフレットなどを活用した学習と国民的な宣伝の取り組みを強めましょう。その取り組みと一体に、運動の飛躍に向けた平和大会の内容づくりを進めていこうではありませんか。

「改めてびっくりした」学習パンフを活用し、 日米軍事同盟の現状を伝えよう

(長野での学習会の感想)

長野市では9月1日午後、千坂日本平和委事務局長を講師に迎え、平和大会パンフを使った学習

会が開催され、27人参加しました。(写真右)

参加者からは、「日本全体で戦争に向けての準備が着々となされていることに、改めてびっくりした。」「軍拡の現状が学びました。資料が充実していてありがたかったです。」「日米軍事同盟強化の実態について、この間の戦争国家づくりの数々の悪法について、など詳細に知ることができました。」と、実態をもっともっと知らせていく必要が知られていないことがわかりました。また、「私たちが学習と声を出していくことがもっともっと必要だと思いました。パンフレットで学びを深め、できる行動をしていきたいと思います。」との感想も寄せられました。さらに「和たちの地域でも学習会を」と講師依頼もとどいているようです。



多彩なプレ企画を準備中

今年の大会はオンラインのため、大会当日に多彩な分科会を設けることは、技術的にかないません。そこで、実行委員会参加団体がそれぞれの問題意識でプレ企画を設ける準備をしています。現在確定しているのは以下の通りです。*並びは、開催日順

▼真実と平和を学ぶ、よりよい教科書を (10月18日18時~19時30分)

講師：糀谷陽子さん(都教組・東京教育連絡会)
担当：全教・教組共闘連絡会

▼自衛隊名簿提出問題

(10月23日18時~19時30分)
講師：有田崇浩(「平和新聞」編集長)
担当：自治労連

▼弾薬庫強化反対のたたかひの交流

(10月30日午後2時~3時30分)
報告：大分・敷戸弾薬庫、京都・祝園弾薬庫、
青森・大湊弾薬庫などから
担当：日本平和委

▼青年企画「安保は誰得?!なぜ日本はアメリカ従属なのか」(仮) (11月9日10時30分~12時) @全労連会議室でハイブリッド形式)

担当：全労連青年部、民青同盟中央委員会、日本原水協、日本平和委員会(暫定)

▼台湾の平和勢力と交流する分科会 (11月9日14時~16時30分)

台湾から、報告者：盧猜儀(中央研究院欧米研究所員 博士)
討論者：傅大為(陽明交通大学S T S研究所教授)
馬健三(政治大学コミュニケーション学院教授)
担当：日中友好協会、AALA 連帯委員

▼核問題と大軍拡・安保(仮題)

担当：日本原水協(検討中)

▲自治労連企画のチラシです。各企画それぞれで独自のチラシをつくり、参加を呼びかけていきます。